

高付加価値なインバウンド観光地づくり

(一社)山陰インバウンド機構「山陰の手仕事に出会う旅」造成事業にてモニターツアーが実施されました。この地で代々継承されてきた手仕事の美しさの通底にあるものを体感していただくために、手仕事の現場訪問だけではなく地域の特性や人々の精神性を知っていただくコンテンツも交えた3泊4日のツアーです。宿のオーナー洋子が専務理事を務めるBisuiDaisenは事業受託された(一社)Expeより、大山パートのコンテンツ造成を任せ、普段体験することが出来ない護摩行などをツアーを組みこみました。



BisuiDaisen パートでガイドを務めた松田彩子さんの Facebook への投稿

10月中旬に、国の事業のインバウンドモニターツアーのガイドをさせていただく機会があり、そこで6000年続くデザインの光を感じました。この事業は、旅行業者を得て、大山流域での日本に横たわる精神性を感じていただく感覚でした。この事業は、旅行業者による大きな機会に、私がガイドをするというチャンスをいたしました。参加者の方々からは、こんなコ

メントが。「自分のオリジンに立ち返ることができたよ。」と言つて、涙ぐまれていました。肌の色、目の色、お仕事、国籍など、バックグラウンドは関係なく、"Because of Dai sen-nan" 「大山さんのおかけ」という6000年続くデザインは伝わることが改めて分かり、6000年前から多様なバックグラウンドを持つ人たちが重なり会う「デザイン」が足元に広がっていました。感動が止まりません。6000年続くにはやはり何らかの理由があつて、その時空を超えて今につながる普遍的なモノ、それが紐解き伝えていく。今、それを触いになるでしょうし、かつてこの地が日本の表玄関で、大陸から人がなだれ込む人種のるつぼであつたように、「大山さんのおかげ」を通してまたこの地に新たな積層をつむぎ直せるのではないかと思いました。

今回のモニターツアーで、私は、

「自分のオリジンに立ち返ること

ができるたよ。」

と言つて、涙ぐまれていました。

肌の色、目の色、お仕事、国籍など、バックグラウンドは関係なく、"Because of Dai sen-nan" 「大山さんのおかけ」という6000年続くデザインは伝わることが改めて分かり、6000年前から多様なバックグラウンドを持つ人たちが重なり会う「デザイン」が足元に広がっていました。感動が止まりません。6000年続くにはやはり何らかの理由があつて、その時空を超えて今につながる普遍的なモノ、それが紐解き伝えていく。今、それを触いになるでしょうし、かつてこの地が日本の表玄関で、大陸から人がなだれ込む人種のるつぼであつたように、「大山さんのおかげ」を通してまたこの地に新たな積層をつむぎ直せるのではないかと思いました。



ホセルイスさんとベゴニヤさん 天の真名井で水を汲むハビエルさん



いつも手伝ってくれるウェイさん



しじ縄を見せながら解説する山中さん 餅つきするアネさん

ハビエルさんの Google Map クチコミ評価

ヨーロッパ、アメリカ、日本から集まつた8人のグループで伺いました。洋子さんと、彼女の経営される伝統的な日本家屋のお宿への滞在は、私達にとって一生思い出に残る経験となりました。彼女の本格的で美味しい日本食と素晴らしいおもてなしにはとても感動しました。

また地元の文化や伝統を学ぶ貴重な体験を企画してくださったり、餅つきや日本食の朝食など「本物」の日本文化を体験できるユニークな機会を頂き、とても興味深かったです。

ここに滞在出来て、彼女のおもてなしを受けたことが今回の旅で一番の思い出となりました。洋子さん、本当にありがとうございました。彼女は本当に素晴らしいホストです。

Elly (エリー) さんからのメッセージ

皆さん先週末帰りましたが、終始、米子が一番よかったです、洋子さんのホスピタリティが素晴らしかったと言っていました。何から何までありがとうございました。洋子さんのところにみんなを連れて行って正解でした。貴重な体験の数々をありがとうございます！山中さんや皆さんにもよろしくお伝えください。

洋子の感想

宿を訪れる国内外の方との交流はとても楽しい。観光庁の高付加価値事業で「日本の紀元・神話の国」がテーマのこの地。日本の旅をこの地から始めて他の地域に足を延ばす旅も提供していきたい。

天の真名井と本宮の泉

殆どの皆さんが初来日でしたが、エリーさんの企画で、大山さんの麓から始まるマニアックな日本旅に…。23日には天の真名井(弥生時代から生活用水として使われていた形跡がある)、25日には本宮の泉(一日3万トンの湧水量を誇る)、淀江の2か所の湧水地を訪ねました。いざれも観光客の居ない静寂の中、大山さんのおかけ、約30年前の雪解け水が湧き出す自然の恵みに触れる機会となりました。天の真名井では湧水を汲んでも帰り、宿で出すコーヒーやお茶、お鍋に利用します。本宮の泉は紅葉がとても綺麗な時期で、清らかな水と紅葉で日本を感じもらいました。

宿では24日の夜、そして最終日の25日の朝に食事を提供しました。宿の食事は地元食材・畑の野菜を使った家庭料理、「鳥取和牛のすき焼き」と「近隣の漁港で獲れた魚介類と自家製野菜の海鮮鍋」。皆さんとて喜んで召し上がりくださいました。特に醤油・みりん・酒・砂糖で味付けしたさき焼きの中に入った「焼き豆腐」が大人気！食後は、男性含め皆で洗い物・皿拭きをしてください。翌朝の朝食は、日本の朝ごはん。天日干しの「かけ米ぬき」もすすめ、豆腐とネギの味噌汁、焼き魚やサラダ、おぼろ豆腐、板わかめ、大山ハム、ワインなどを提供しました。

宿にはスペイン語が飛び交い、私も、あつとい間に片付け完了！翌朝の朝食は、日本の朝ごはん。天日干しの「かけ米ぬき」もすすめ、豆腐とネギの味噌汁、焼き魚やサラダ、おぼろ豆腐、板わかめ、大山ハム、ワインなどを提供しました。洋子もスペイン語の皆さんも「シーサー」と「グラシアス（ありがとうございます）」はお互いの母国語で言えるようになります。エリーさんの通訳のお陰で不自由なく楽しくコミュニケーションを取りることが出来ました。

皆に喜ばれた食べ物は？

大豆脱穀＆餅つき

最終日25日11時から、ありがとうございました。ご近所さん山中さんの全面協力の下、足踏み脱穀機と唐箕を使って、皆さんお気に入りの豆腐の原材料である大豆を脱穀してもらいました。その後、山中さんのしめ縄談義をエリーさんがスペイン語に通訳。そして、地元の皆さんにも手伝つてもらつて餅つき開始。江戸の間でワイワイガヤガヤ丸めました。

宿にはスペイン語が飛び交い、私も、エリーさんの通訳のお陰で不自由なく楽しくコミュニケーションを取りることが出来ました。

行程表

11月23日(土)
米子空港～美保関～酒蔵見学～天の真名井～大正藏食事会

11月24日(日)
各自で朝食～稻佐の浜～出雲大社～松江城～武家屋敷～温泉(or 買い物)～夕食(さき焼き&海鮮鍋)

11月25日(月)
日本の朝ごはん～大豆の脱穀～しめ縄解説～餅つき～本宮の泉～植田正治写真美術館～大山寺参道～桟木高原～大山まきばみるくの里～(沈む夕日に向かって)～米子駅
※18時台の特急やくもに乗車、倉敷泊※その後、東京へ

お得な特典たくさん！ 淀江の宿今津田中家 2024年度会員募集

年会費 継続会員 2,000円

新規会員 3,000円

瓦版継続発行を応援してくださる会員の皆様を募集しています。
お得な会員特典も！ご協力よろしくお願ひいたします。



お申込みフォーム

会員特典 継続会員：瓦版13号～24号 新規会員：瓦版1号～24号

● **瓦版の送付** 継続会員：瓦版13号～24号 新規会員：瓦版1号～24号

● **お米1升** (約1.5kg) **プレゼント** (きぬむすめ or もち米)

・新米ご希望の方は2024年11月以降
・お米は基本当宿にてお渡し(郵送料別途)
・お米が不要の場合、淀江の宿 今津田中家の利用券1,000円分プレゼント

● 毎月1回 **各種10%割引券** (飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)

● **瓦版2周年イベント** (2025年3月開催予定) **無料参加！**



※1月、2月は日替わり店長カフェをお休みします。「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQは4名以上でご予約を承ります(7時～21時)。詳細はWEBサイト等でご確認ください。